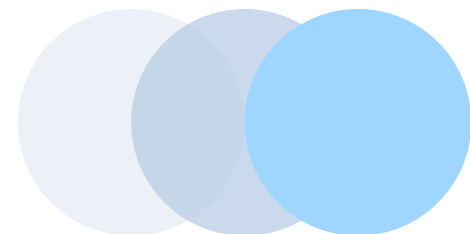


砂川市生活交通ネットワーク計画  
策定調査業務委託の実施内容と  
スケジュールについて

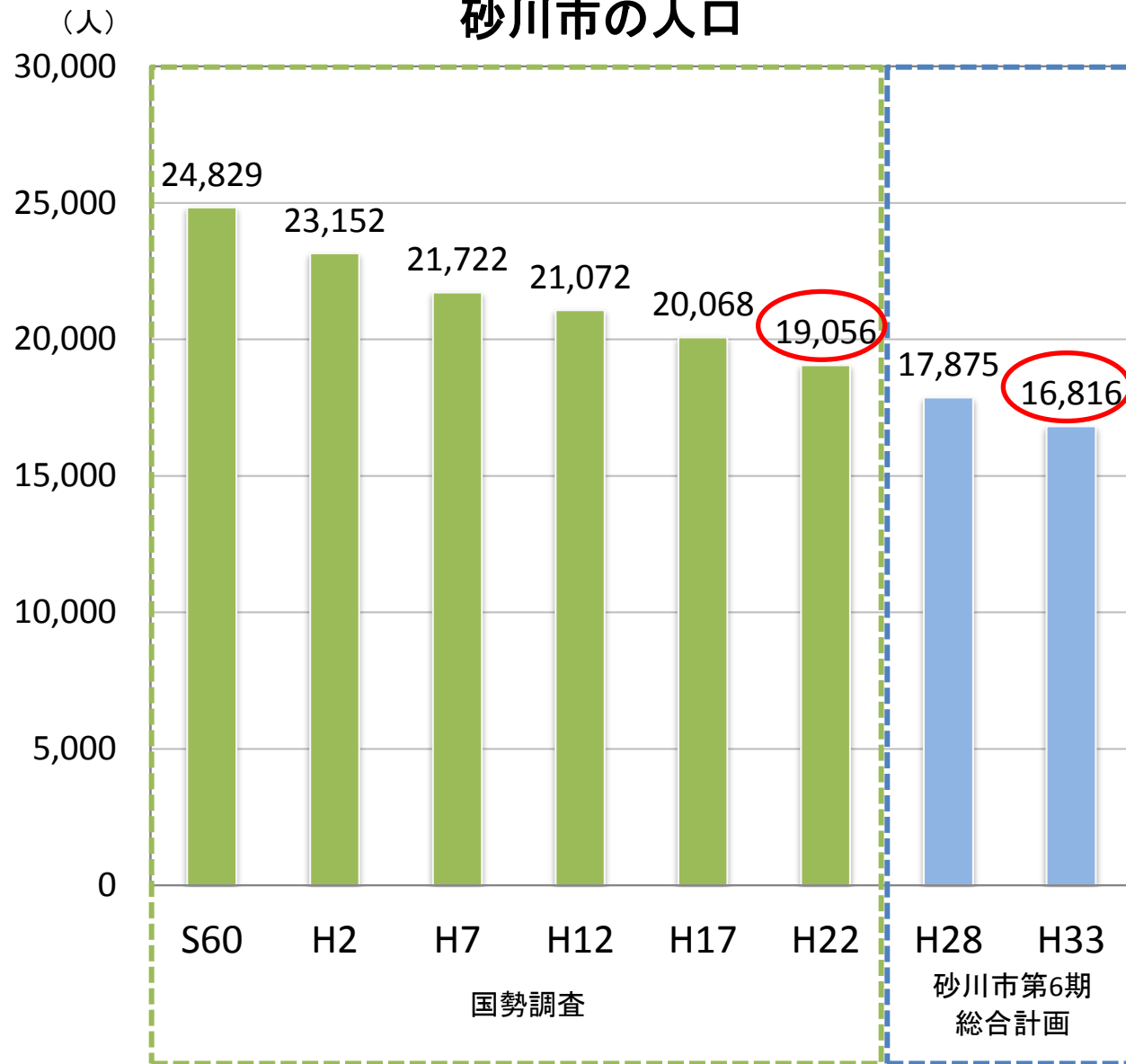
---



### 1. 砂川市の地域の概要

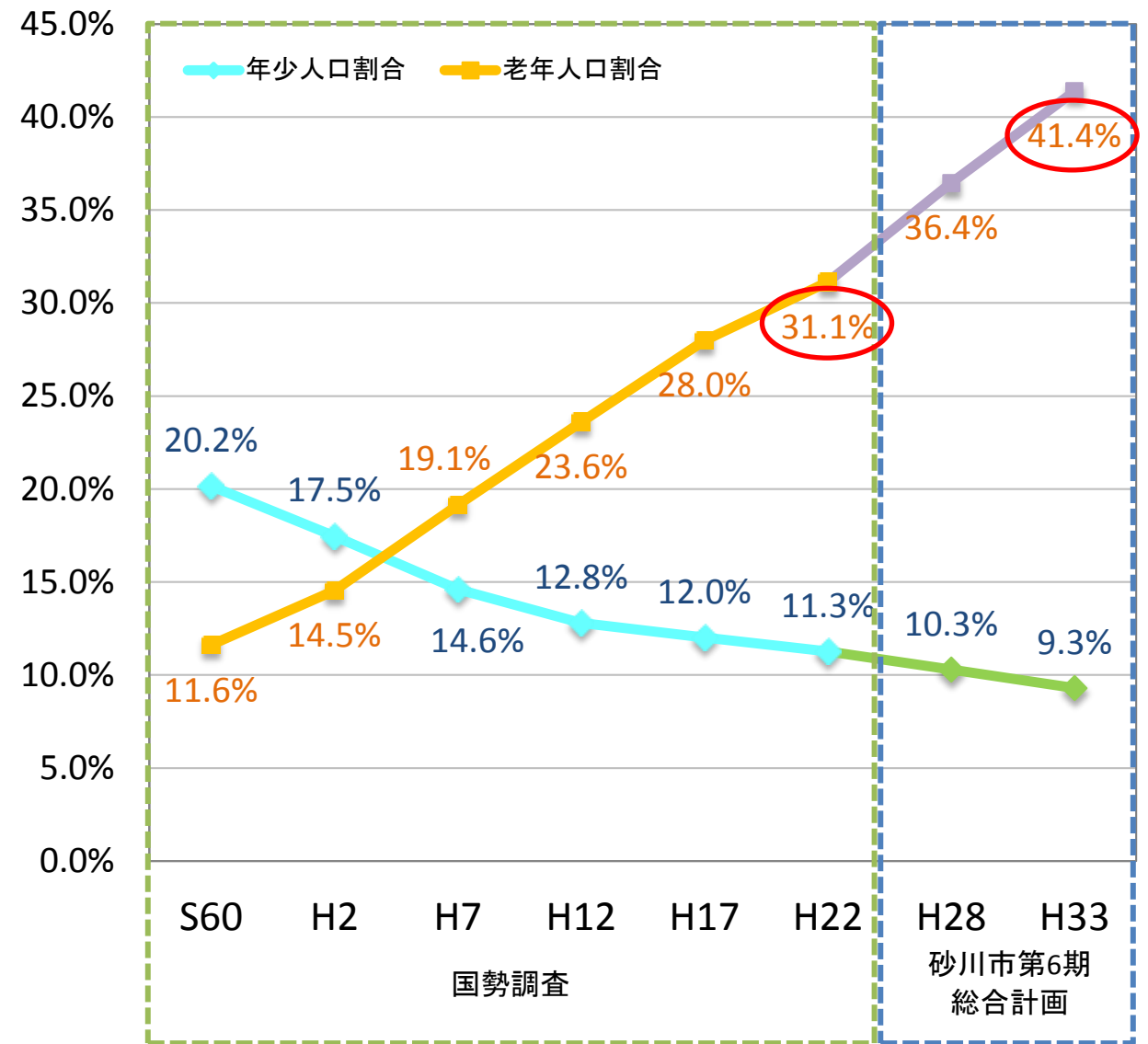
- ①砂川市の人口は**減少傾向**であり、その後も減少することが予測されている  
(平成22年：19,056人⇒平成33年：16,816人、**2,240人減少予想**)。
- ②年少人口割合は減少、老年人口割合は増加し、**少子高齢化が進行**する  
(平成22年： 31.1%⇒平成33年： 41.4%、**10.3%増加予想**)。

#### 砂川市の人口



資料：国勢調査 (S60~H22)、砂川市第6期総合計画 (H27~H32)

#### 砂川市の高齢化率



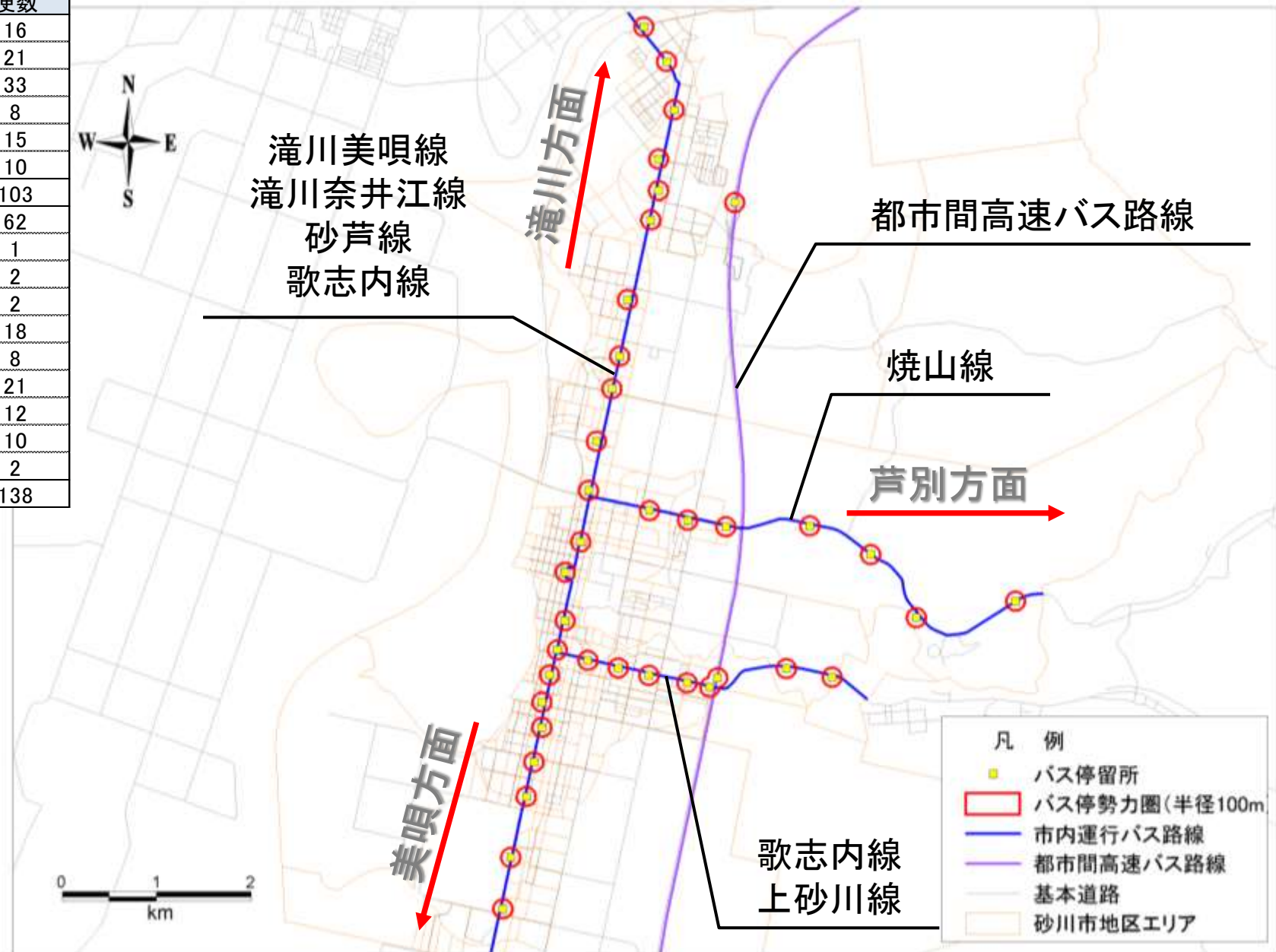
資料：国勢調査 (S60~H22)、砂川市第6期総合計画 (H27~H32)

### 2. 1 砂川市のバス路線

- ①砂川市には、近隣市町村である滝川方面・奈井江方面・芦別方面へのバス路線が運行されている。また、札幌市から各市町村への都市間高速バスが乗降可能となっている。
- ②市内のバス路線の総便数は103便で、都市間高速バスは138便が乗降可能である。

運行路線	運行形態	事業発注主	便数
焼山線	路線バス	北海道中央バス	16
上砂川線	路線バス	北海道中央バス	21
歌志内線	路線バス	北海道中央バス	33
砂芦線	路線バス	北海道中央バス	8
滝川奈井江線	路線バス	北海道中央バス	15
滝川美唄線	路線バス	北海道中央バス	10
市内バス路線合計便数			103
高速あさひかわ号	都市間バス	共同運行	62
高速えんがる号(旭川経由)	都市間バス	共同運行	1
高速しんとつかわ号	都市間バス	北海道中央バス	2
高速たきかわ号:砂川IC経由	都市間バス	北海道中央バス	2
高速たきかわ号:滝川IC経由	都市間バス	北海道中央バス	18
高速なよろ号	都市間バス	共同運行	8
高速ふらの号	都市間バス	北海道中央バス	21
高速るもい号(深川経由)	都市間バス	北海道中央バス	12
高速るもい号(滝川経由)	都市間バス	北海道中央バス	10
流氷もんべつ号(旭川経由便)	都市間バス	共同運行	2
都市間高速バス合計便数			138

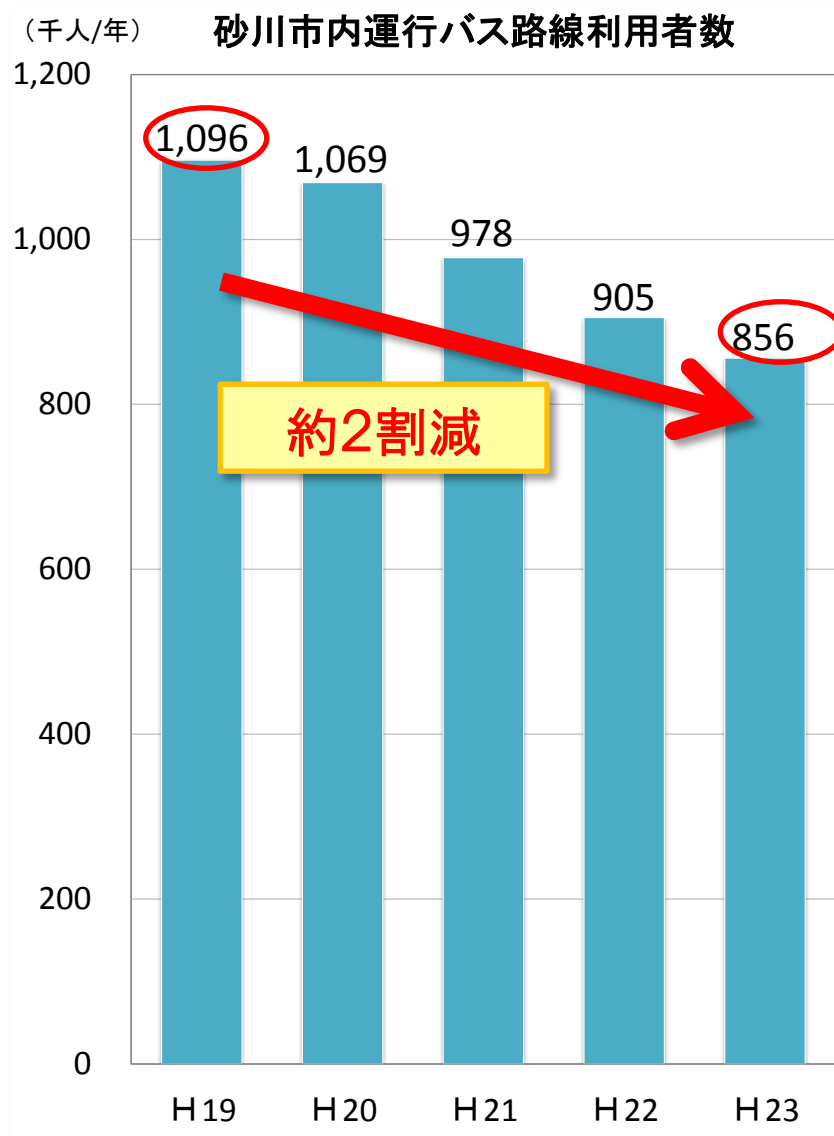
資料：北海道中央バス・沿岸バス・道北バス・宗谷バス 時刻表



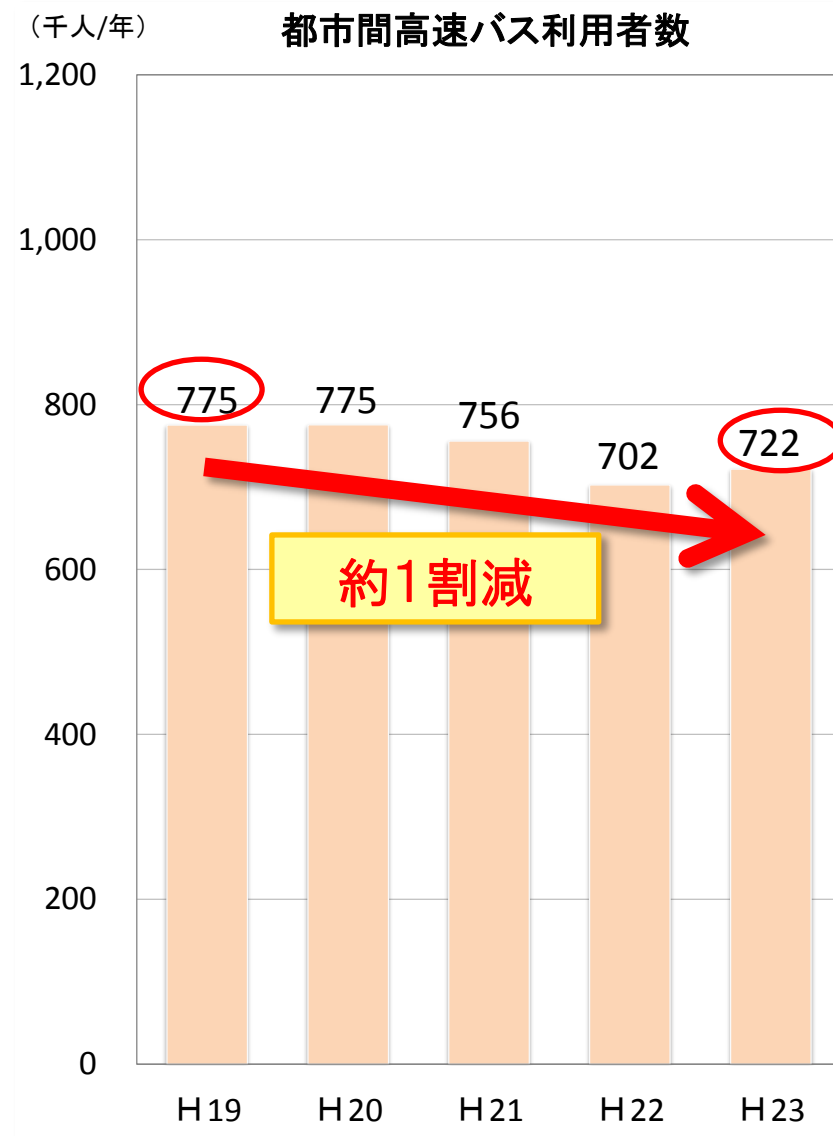
資料：北海道中央バス(株) 路線図

### 2. 2 砂川市の路線バスの概要

- ①砂川市内を運行しているバスの利用者数は減少傾向にあり、平成19年から平成23年で**約2割減少**している。  
また、都市間高速バスの利用者は約1割減少となっている。
- ②バス交通に対する収支不足額補償金も増加傾向にあり、平成19年から平成24年で**約4割増加**している。



資料：北海道中央バス(株)



資料：北海道中央バス(株)

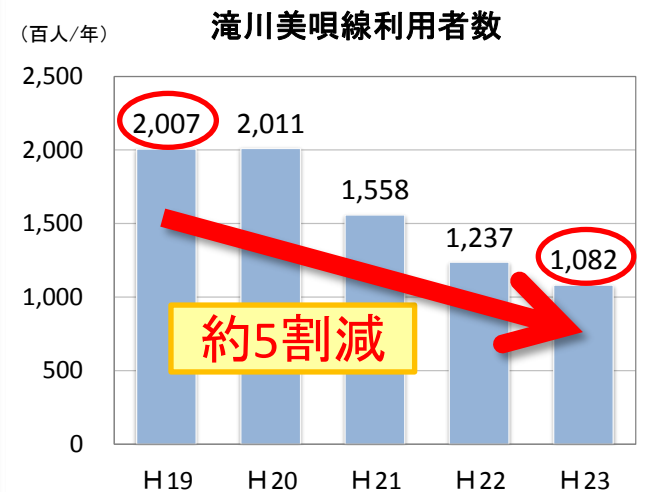
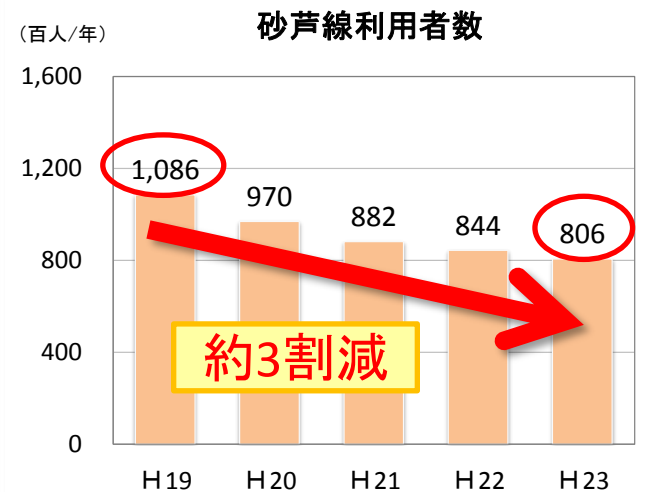
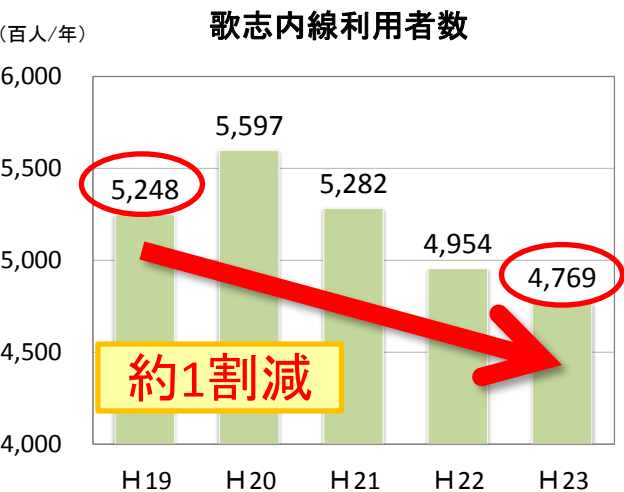


資料：砂川市市民部市民生活課

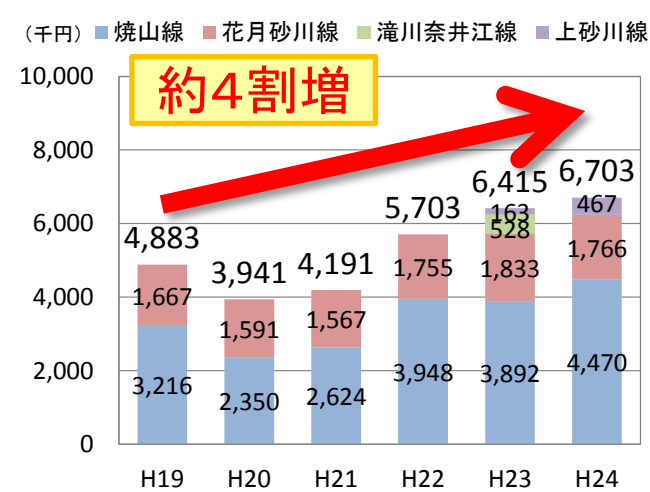
### 2. 3 砂川市の路線バスの概要（路線別）

- ①砂川市内を運行する各路線別に利用者数を見ると、**歌志内線**の利用者が多く平成23年の利用者は4,769百人/年となっている。
- ②砂川市内を運行する路線別に利用者数を見ると、滝川奈井江線以外の路線で利用者が減少傾向にある。特に**滝川美唄線**においては、平成19年と平成23年を比較すると**約5割の減少**となっている（925百人/年減少）。
- ③砂川市の各路線に対する収支不足額補償金は、平成19年から平成24年で**約4割増加**している。

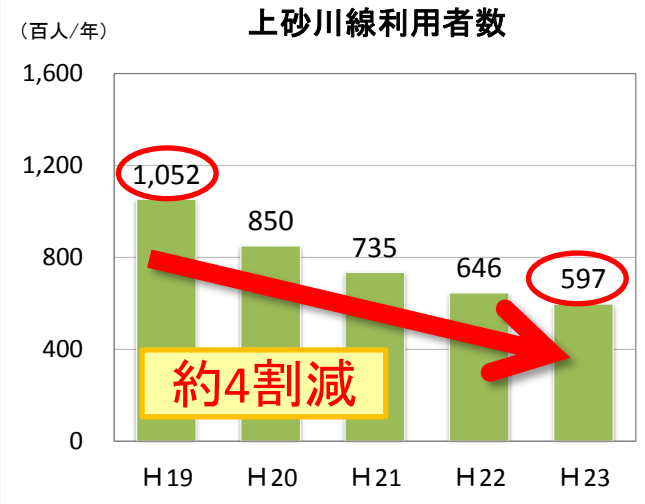
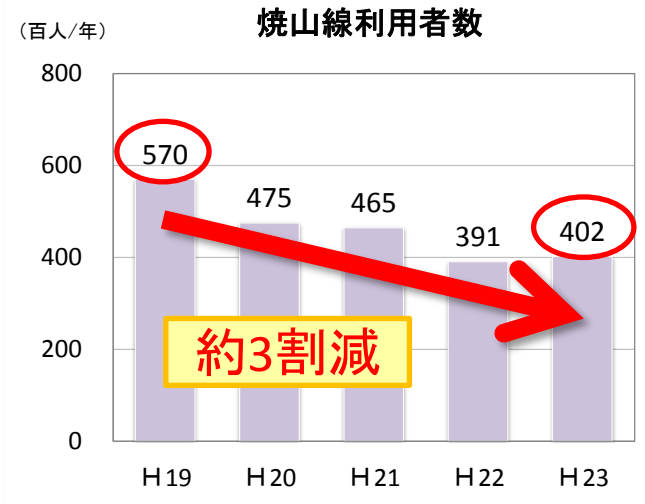
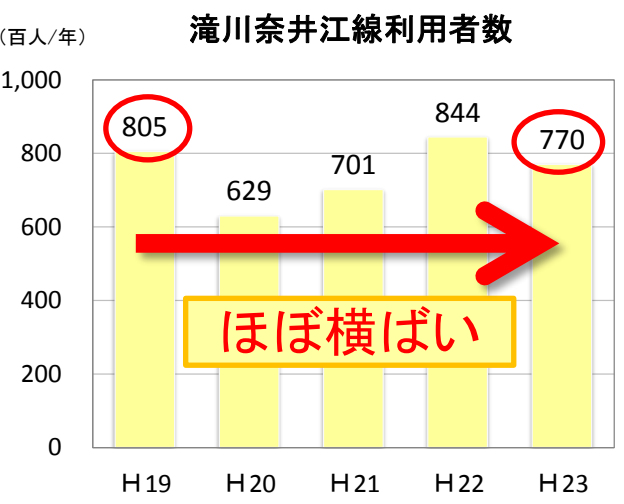
■ 路線別利用者数推移



■ 路線別収支不足額補償金推移



資料：砂川市市民部市民生活課



資料：北海道中央バス(株)



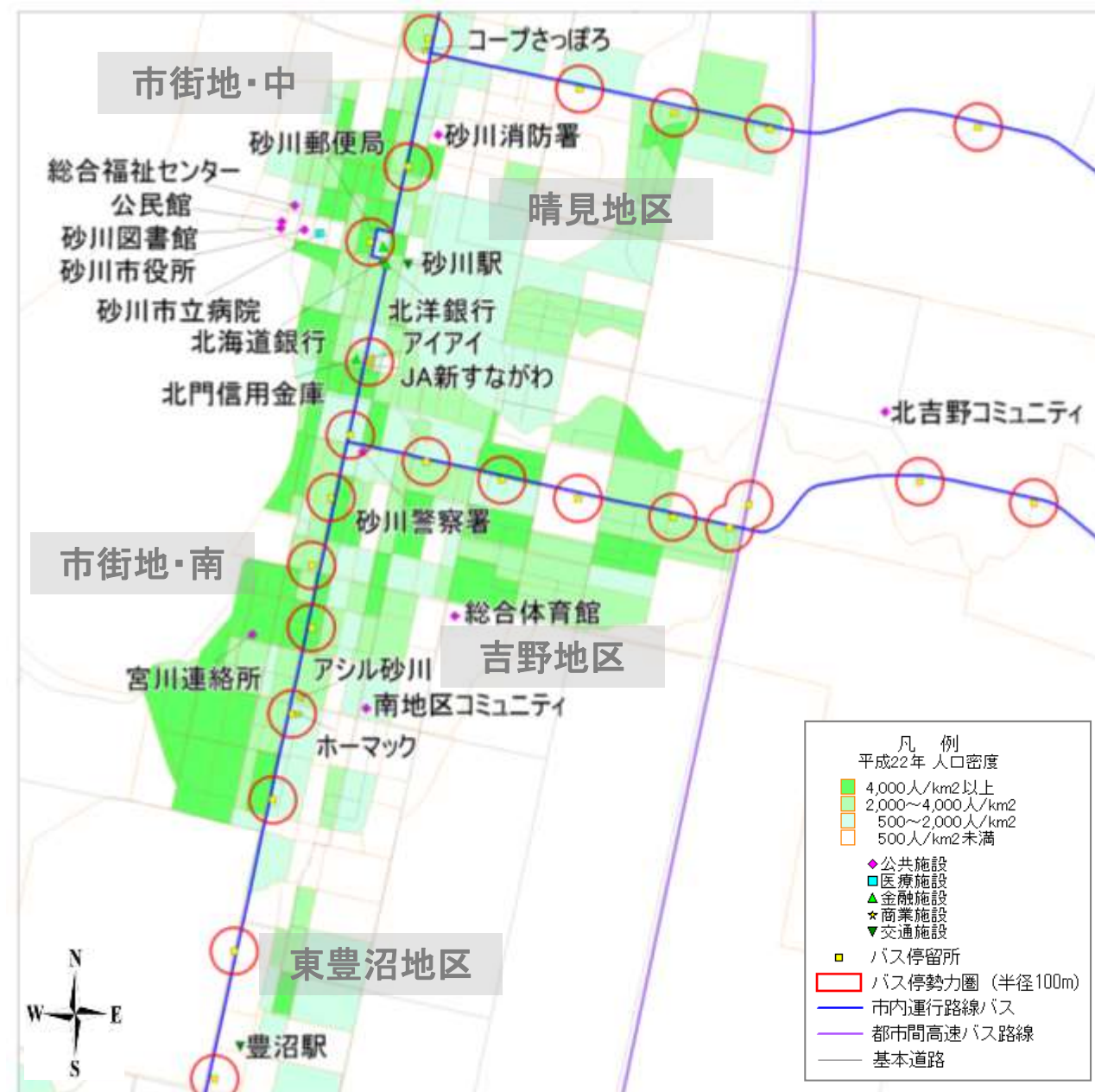


### 2. 5 砂川市の人口密度分布と公共交通空白地域の現状（詳細図）

砂川市北部



砂川市南部



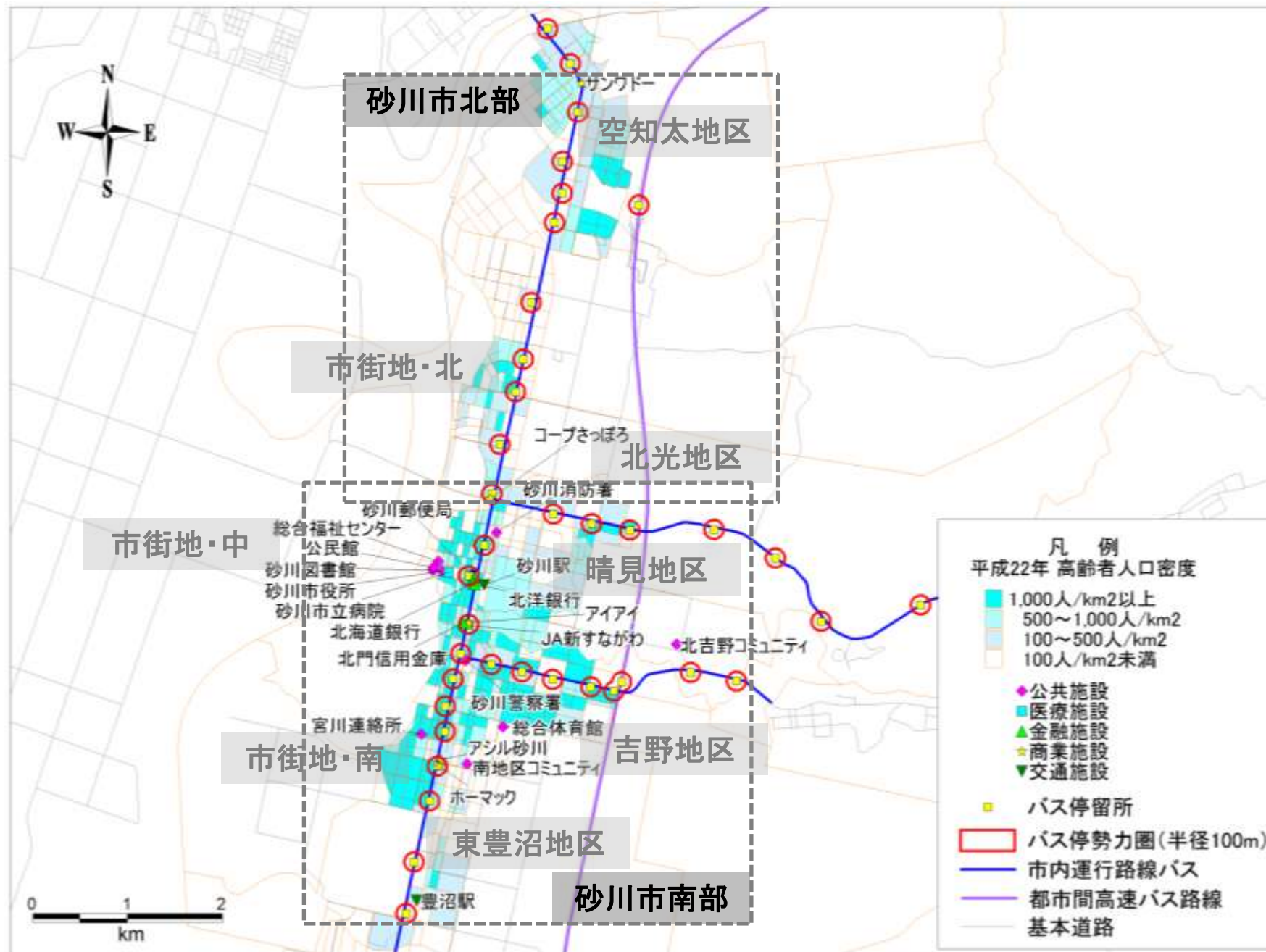
- 凡例
- 平成22年人口密度
- 4,000人/km<sup>2</sup>以上
  - 2,000~4,000人/km<sup>2</sup>
  - 500~2,000人/km<sup>2</sup>
  - 500人/km<sup>2</sup>未満
- ◆ 公共施設
  - 医療施設
  - ▲ 金融施設
  - ★ 商業施設
  - ▼ 交通施設
- バス停留所
  - バス停勢力圏（半径100m）
  - 市内運行路線バス
  - 都市間高速バス路線
  - 基本道路

資料：平成22年国勢調査



### 2. 6 砂川市の高齢者人口密度分布と公共交通空白地域の現状

- ①高齢者の人口密度分布についても、全体の人口密度分布と同様に**市街地・中地区**で高いことに加え、**空知太地区・吉野地区**においても高い状況がみられる。
- ②高齢者人口密度においても**各地域に公共交通空白地域が存在**している。



#### バス停勢力圏とは

自宅からバス停までの距離を**無理なく歩ける範囲**（100m※1を設定）

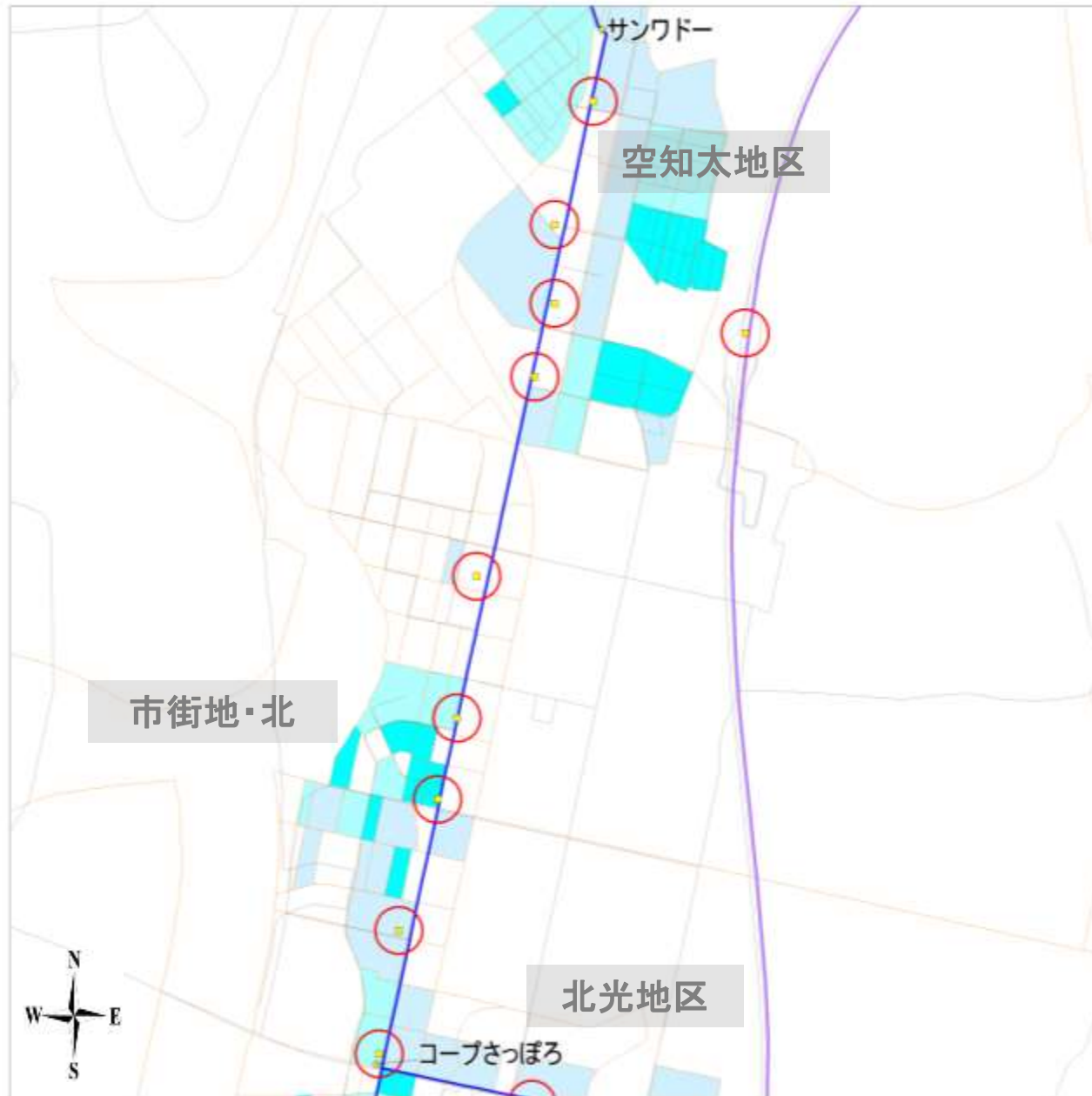
※1高齢者（歩行速度40m/分）の90%が抵抗感を感じない時間を3.5分としており、これを距離に換算すると、  
 「3.5(分)×40(m/分)=140(m)÷100(m)」  
 となる。

資料：平成22年国勢調査

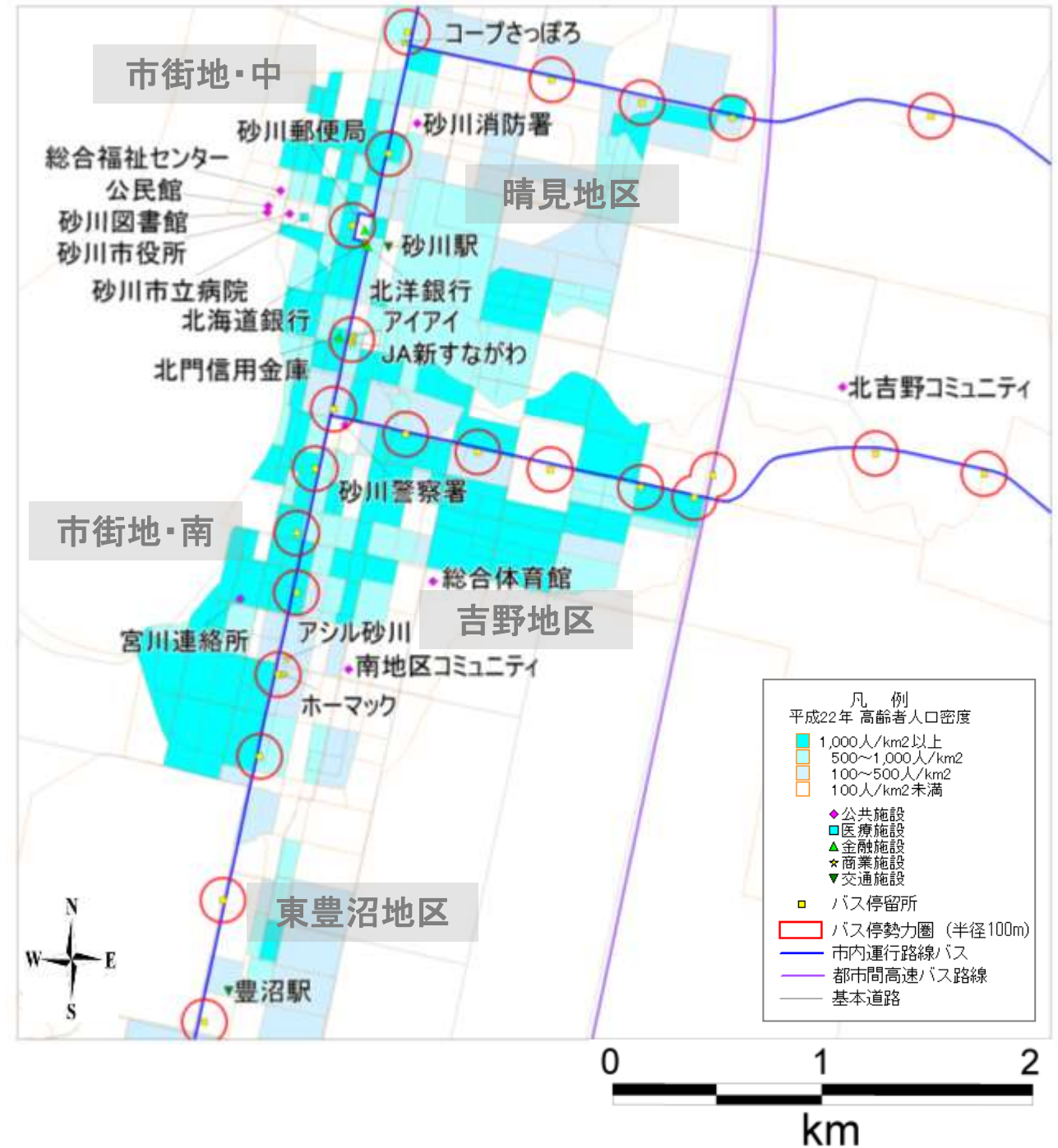


### 2. 7 砂川市の高齢者人口密度分布と公共交通空白地域の現状（詳細図）

#### 砂川市北部



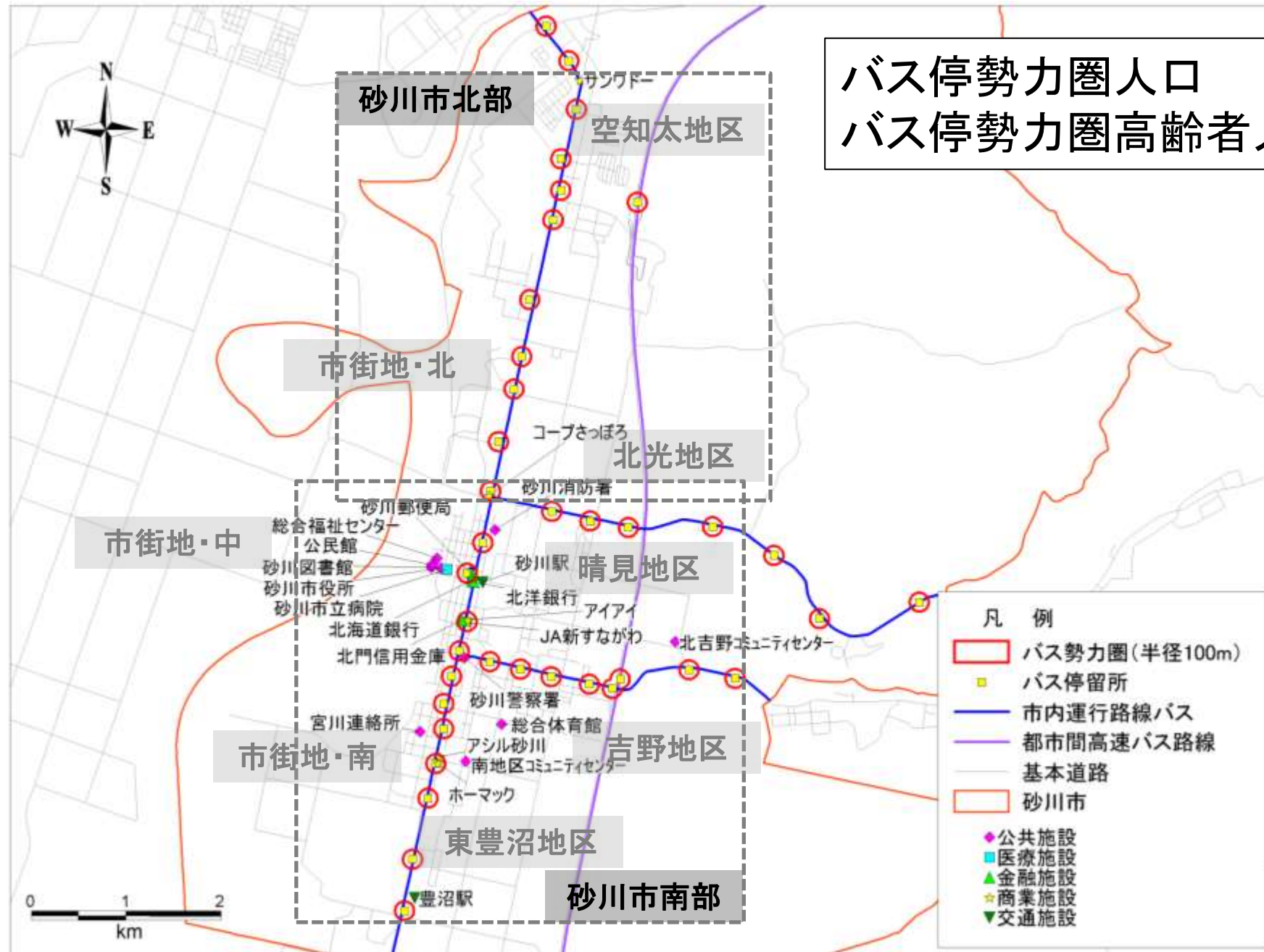
#### 砂川市南部



資料: 平成22年国勢調査

### 2. 8 バス停勢力圏内の人口

①市内を運行する路線バスのバス停勢力圏人口は1,536人であり、内高齢者は502人を占めている。



バス停勢力圏人口 : 1,536人  
 バス停勢力圏高齢者人口: 502人

**バス停勢力圏とは**  
 自宅からバス停までの距離を無理なく歩ける範囲（100m※1を設定）  
 ※1高齢者（歩行速度40m/分）の90%が抵抗感を感じない時間を3.5分としており、これを距離に換算すると、  
 「3.5(分)×40(m/分)=140(m)÷100(m)」となる。

資料:H22国勢調査  
 北海道中央バス(株)

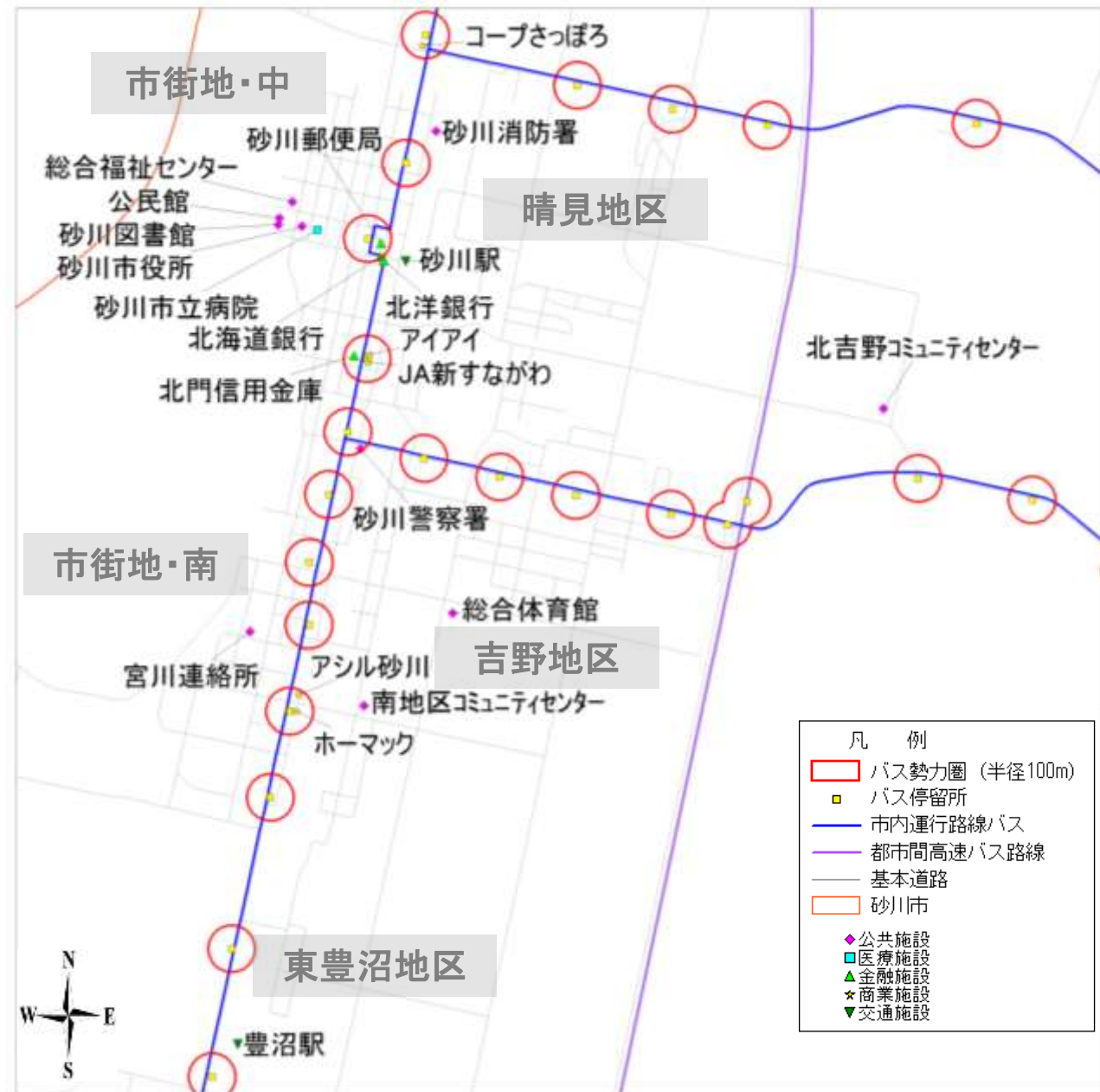


### 2. 9 バス停勢力圏内の人口（詳細図）

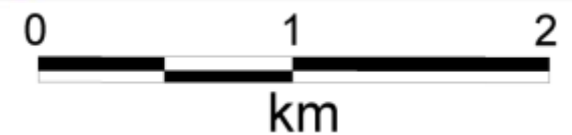
#### 砂川市北部



#### 砂川市南部



- 凡 例
- バス勢力圏（半径100m）
  - バス停留所
  - 市内運行路線バス
  - 都市間高速バス路線
  - 基本道路
  - 砂川市
  - ◆ 公共施設
  - 医療施設
  - ▲ 金融施設
  - ★ 商業施設
  - ▼ 交通施設



資料：平成22年国勢調査、北海道中央バス(株)



### 3. 砂川市における都市交通課題の整理

#### 【砂川市を取り巻く現状】

人口減少

高齢化の進行

公共交通空白地域の存在

バス運行への  
補償金の増加

バス利用者数  
の減少

#### 【砂川市生活交通ネットワーク計画の策定（案）に向けての課題と解決策】

##### 課題①：交通空白地域の改善

対応方針 ▶ フィーダー系統を意識した**コミュニティバス**や**予約運行型乗合タクシーの導入**検討

##### 課題②：JRや既存バス路線と一体となった総合的な交通計画の立案

対応方針 ▶ 交通モード間の**乗り継ぎ改善**や**サービス水準改善**策の検討

##### 課題③：公共交通の利用促進

対応方針 ▶ **情報提供方策**や**利用促進ツール作成**検討

砂川市生活交通ネットワーク計画策定調査の実施

## 4. 1 砂川市生活交通ネットワーク計画策定調査の内容

## 調査①:地域の人口・世帯状況の整理 ～ 9月実施

- 各種データを活用し、交通弱者となる可能性の高い高齢者の住んでいる場所や高齢者などの調査を行い、**新たな公共交通を求める潜在需要**を把握

## 調査②:路線バス運行状況調査 ～ 9月

- 路線バスの事業者に対して、路線ごとの利用人数および収支状況等の聞き取り調査を行い、**市内路線バスの運行状況**を把握

## 調査③:バス乗降調査 ～ 10月

- 現在運行している路線バスに調査員が乗車して利用者に対してアンケート調査を行い、**市内路線バスの利用実態や問題箇所等**を把握

## 調査④:実証調査運行 ～ 9月1日～9月30日、2月1日～2月28日

- 砂川市民を対象に、コミュニティバス、及び乗合タクシーを運行

## 調査⑤:実証調査運行・利用者アンケート調査 ～ 9月

- 実証調査運行により利用地域・利用人数などを把握
- 利用者に対してアンケート調査を行い、**新たな公共交通が与える既存交通機関への影響**や**新たな公共交通のニーズ**を把握

## 調査⑥:砂川市の公共交通に関するアンケート調査(住民ニーズ把握調査) ～ 10月

- 約1,500世帯を無作為抽出して公共交通に対する利用ニーズの調査を行い、**市民の具体的な移動状況、新たな公共交通の利用意向などの市民ニーズ**を把握

### 4. 2 バス乗降調査

#### 実施計画（案）

##### 1.調査目的

砂川市における**現状のバスの利用状況を把握**し、市内の交通不便地域の解消に向けた新たな交通サービスの導入を検討する基礎資料を得ることを目的とする。

##### 2.調査対象

砂川市内を運行する**バス路線の砂川市内バス停留所で乗降する全ての利用者**を対象とする。なお、調査は平日・休日各1日とし、全路線・全便について調査を実施する。

##### 3.調査実施方法

調査員がバスに乗車し、ビンゴ式アンケート票を配布し、回答してもらい回収する。

##### 4.実施時期

10月の平休日に実施する（1日）。

##### 5.調査内容

調査方法	調査項目	備考
調査票配布	▼目的地(行き先)	
	▼利用目的(通勤・通学、買物等)	
	▼バス利用頻度	
	▼乗継の有無	バスからJR・バスへの乗継有無
	▼性別	
	▼年齢	
目視	▼乗車・降車バス停	バス停別、利用区間別(OD)の把握



### 4. 3 実証調査運行

#### 実施計画（案）

##### 1.調査目的

新たな公共交通の必要性や適した運行形態等を把握するため、有償のコミュニティバスや乗合タクシーを運行し、**本格運行の検討に向けた基礎資料を得る**ことを目的とする。

##### 5.実証調査概要

#### 2.調査対象

調査運行の利用者

#### 3.調査実施方法

市内南地区：コミュニティバス  
市内北地区：予約運行型乗合タクシー を運行

#### 4.実施時期

9月と2月の各々1カ月間を予定

ルート	運行エリア・停留所	運行形態	利用料金	共通乗降場所
北ルート①	▼一の沢地区    ▼北光地区 ▼袋地地区    ▼焼山地区	予約運行型乗合 タクシー	500円 ※小学生未満は無料	【まちなか乗降地】 ●砂川駅 ●市立病院 ●公民館 ●ふれあいセンター
北ルート②	▼富平地区    ▼空知太地区 ▼晴見地区			
南ルート①	■宮城の沢小学校跡地 ■北吉野コミュニティセンター ■東町団地入口 ■南吉野老人憩の家 ■総合体育館駐車場 ■南地区コミュニティセンター ■新泉会館	コミュニティバス	大人200円 小人100円 ※小学生未満は無料	
南ルート②	■豊沼小学校前 ■豊栄公園    ■羽原宅    ■桜田宅 ■宮川集会所    ■宮川老人憩の家			

### 4. 4 実証調査運行・利用者アンケート調査

#### 実施計画（案）

##### 1.調査目的

新たな公共交通の本格運行に向けた新たな公共交通システムの利用者を対象にアンケート調査を実施し、**利用者の属性、利用目的等を把握する**ことで、新たな公共交通の本格運行の検討に向けた基礎資料を得ることを目的とする。

##### 2.調査対象

**コミュニティバス、予約運行型乗合タクシーの利用者**を対象とする。

##### 3.調査実施方法

車両に**ビンゴ式アンケート票**を設置し、**降車時に回収箱、運転手に渡し回収**する

##### 4.実施時期

9月調査運行時、及び2月調査運行時とする。

##### 5.調査内容

調査項目	備考
▼乗車場所・降車場所について	バス停別ODの把握
▼乗車時間帯について	
▼バス利用頻度について	
▼乗継の有無について	新たな交通手段からJR・バスへの乗継
▼利用目的について	
▼運賃について	
▼普段の交通手段について	
▼性別について	
▼年齢について	
▼職業について	

### 4. 5 砂川市の公共交通に関するアンケート調査（住民ニーズ把握調査）

#### 実施計画（案）

##### 1.調査目的

砂川市の公共交通運行計画立案に向けて、砂川市民の**現状における交通実態**や**新たな公共交通手段における住民ニーズを把握する**ことを目的とする。

##### 5.調査内容

#### 2.調査対象

1,500世帯程度抽出して、配布を行う。

#### 3.調査実施方法

郵送配布・回収する。

#### 4.実施時期

10月に実施を予定する。

調査項目	設問項目	集計・分析内容
個人属性	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼性別、年齢、職業、住所、家族構成</li> <li>▼自動車免許の保有状況</li> <li>▼自由に利用できる車の有無</li> <li>▼将来の交通手段について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各属性別や他調査項目とのクロス集計を行い、年齢別（特に高齢者）や地区別特性分析を行う。</li> </ul>
交通行動について （通勤・通学、買物、通院、私用）	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼主な交通手段</li> <li>▼外出頻度</li> <li>▼外出する曜日</li> <li>▼外出する時間帯</li> <li>▼施設での滞在時間</li> <li>▼目的地（具体的施設名）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■砂川市民の通勤・通学、買物、通院、私用時の交通行動を把握し、調査運行に向けた詳細な運行計画の検討（運行ルート、運行頻度・便数、時間帯等）を行う。</li> </ul>
バスの利用状況について	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼バスの利用頻度</li> <li>▼バスを利用しない理由</li> <li>▼バスを利用しない理由が改善されたときの利用可能性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■砂川市民のバスの利用状況等を把握し、住民ニーズを踏まえた調査運行計画の検討を行う。</li> </ul>
砂川市における交通サービスの確保・維持について	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼実証運行の認知具合、利用可能性</li> <li>▼実証運行の満足度</li> <li>▼実証調査を利用しない理由</li> <li>▼実証調査を利用しない理由が改善された時の利用可能性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■9月実証運行の利用状況を把握し、住民のニーズを踏まえた積雪期実証調査や本格運行計画の検討を行う。</li> </ul>



### 5. 砂川市公共交通検討の業務スケジュール

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	アウトプット	
住民ニーズ把握調査			アンケート票の配布・回収	<b>▼調査概要▼</b> 調査時期：平成25年10月 調査対象：砂川市内1,500世帯 アンケート配布数：各世帯の2枚配布 配布・回収方法：郵送配布・郵送回収 目標回収率：25%				■砂川市民の公共交通に対するニーズを把握 ■公共交通満足度の把握 ⇒利用者ニーズに即した公共交通のありかた導入を含めた運行計画（案）作成の基礎資料	
バス乗降調査			バス乗降調査の実施	<b>▼調査概要▼</b> 調査時期：平成25年10月 対象路線：砂川市内を運行する各主路線バス（平休1日） 調査方法：調査員がバスに乗り、ビンゴ式アンケートを配布し、目視・ヒアリングで調査				■便別利用者数、バス停間利用者数、利用者属性、利用目的等の把握 ⇒砂川市バス交通の問題点の抽出	
利用者アンケート調査 実証調査運行				実証調査実施（無積雪期）			実証調査実施（積雪期）	■利用者属性、利用目的等の利用実態を把握 ⇒新たな公共交通の本格運行の検討に向けた基礎資料 【無積雪期の実証調査】 ⇒積雪期の実証調査に向けての検討 【積雪期の実証調査】 ⇒本格運行の必要性などの検討	
会議	★	第3回会議			★	第4回会議	★	第5回会議	■各種調査結果の検討、及び本格運行の必要性などの検討の実施 ⇒本格運行の必要性などの検討に向けた課題の抽出 ⇒砂川市地域公共交通の構築の検討